

地域共生型福祉施設

やすらの里だより

2015年7月 No.3

発行者：やすらの里広報委員会



「子どもも障害のある人も高齢者も、福祉の分野の垣根を越えて共に暮らす町づくり」をめざしてとりくんでいるやすらの里で、「垣根」をはずしていくためには、日常的で自然なつながりと、各事業所の意識的な努力の両方が大切だと感じてきました。

今後も、地域の中での役割を果たしていけるよう連携して事業をすすめていきたいと思っておりますので、皆様のご支援・ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

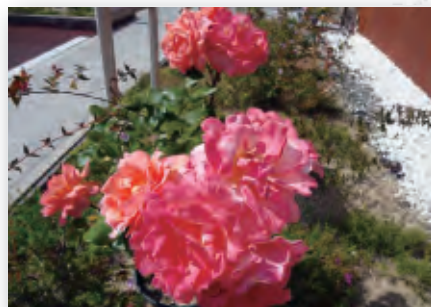
やすらの里では、たくさんのお出会いがあります。高齢者施設のご利用者ご家族の方々、子育て支援センターに来られる若いママさんと子どもさん、喫茶のお客さん等々。「まあ、久しぶり」となつかしい顔が見られたり、新たな出会いにほのぼのとしたり、そのつながりが一人一人の生活の支えやエッセンスになっていると感じます。

「子どもも障害のある人も高齢者も、福祉の分野の垣根を越えて共に暮らす町づくり」をめざしてとりくんでいるやすらの里で、「垣根」をはずしていくためには、日常的で自然なつながりと、各事業所の意識的な努力の両方が大切だと感じてきました。

「子どもも障害のある人も高齢者も、福祉の分野の垣根を越えて共に暮らす町づくり」をめざしてとりくんでいるやすらの里で、「垣根」をはずしていくためには、日常的で自然なつながりと、各事業所の意識的な努力の両方が大切だと感じてきました。

喫茶店の玄関前に、今年も「花音」という名前のバラの花が咲きました。この花は、一昨年のやすらの里の開設の時に寄付していただいたものです。この二年数ヶ月、花木が育つように地に根を張っていききたいと歩みをすすめてきました。

お店にお越しただくお客様、旬の野菜をご寄付いただく方、店内に飾る小物をプレゼントしていただく方など、たくさんのお客様に支えていただいていますことを、この場をお借りして御礼申し上げます。



「つながりを広げる歩みの中で」
ワークセンター花音 管理者 平井 弘美

◎最近のイベント◎

・加悦谷まつり『後野地区』（4/25）

後野地区の宮本町から『愛宕山子供歌舞伎』の皆様にご披露いただきました。本格的なお化粧や立派な衣装を身にまとい、大人顔負けの舞台に利用者の皆さまも惜しめない拍手を送っておられました。



・加悦谷まつり『加悦地区』（4/25・26）

加悦神楽保存会の皆さまによる『神楽舞い』をご披露して頂きました。ご利用者の皆さまも迫力ある舞いを、食い入るように見ておられました。『子供神輿（みこし）』の子供たちはステキな歌を披露して下さいました。また、今年は下之町の子供屋台がお目見えし、約一ヶ月間の稽古に励んだ子供たちが艶やかな踊りを披露してくれました。



・やすらの里 消防避難訓練（6/26）

宮津与謝消防署の皆様にお世話になり、消防避難訓練を行いました。毎回、出火場所を変え、どこで火災が起きても避難や消火活動が速やかにできる様に訓練しています。

やすら苑

へいちご大福をつくりました

つばき通り2番地では、5月17日(日)のおやつにイチゴ大福を手作りし、ご利用者のみなさんに食べていただきました。イチゴは職員が自宅の畑で作ったものを、餡は職員のおばあさんが作られた小豆を使い、ユニットで炊いて作りました。白玉粉で作った求肥(ギョウヒ)でイチゴと餡を包む作業はなかなか上手くいかず苦戦しましたが、「味は最高!」とご利用者に褒めていただきました。あまりの美味しさに「もう一つないんか?」「もっと食べさせてほしい!」と催促があり、なかには我慢できずに餡だけをペロリと食べられるご利用者もおられました。



ご利用者のみなさんに日々の生活を楽しんでいただけるように、毎月手作りのおやつを考えています。
6月は餡入りのベビーカステラを作る予定です。

やすらの旋風

生活リハビリ道場

生活リハビリ道場では、生活動作を主体としたリハビリの他に、手先を使った作業を「楽しいリハビリ」として実施しています。そうして皆さんに作品づくりに励んでいただいている中、「小さいものばかりでなく、大作も作ってみたいわー!」と言う意見をいただき、今回、写真の様な大きな壁画に挑戦してみました。

3ヶ月かけて完成したこの「天橋立の立体壁画」は、小分けにした10センチメートル四方の台紙にお花紙を小さく丸めて貼りつけるという方法で、皆さんそれぞれに制作していただきました。その10センチメートル四方の台紙を全て貼り合わせて、高さ90センチメートル、幅120センチメートルという迫力ある立体壁画が完成しました。携わっていただいた皆さんや他の利用者からも「ええのができた!」と喜びの声をいただきました。

この大作は、ショッピングセンターの文化祭に出展し沢山の方に見ていただきましたし、また、デイサービス雑誌の「月刊デイ」に掲載していただき、入賞を果たしました。この喜びを糧に、これからも「楽しいリハビリ」として沢山の作品づくりに取り組んでいきたいと思っております!



雑誌「月刊デイ」で入賞しました! 記念の撮影会

~ワークセンター
花音より~

七月より
ポイントカードを作りました。

カードを持ってご来店頂き、
どんどんポイントをためて下さい！



このおかず
おいしかったわ。
レシピ
教えてくれる？

正直 600 円
ランチって
安いと
ちがうん？

待たずに
食べられて、
ありがたいわ！

もしもし〇月〇日、
〇〇女子会 6 名
予約をお願いします。
ランチです。

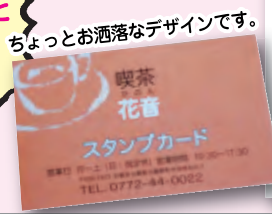
ここに来ると、
つつい長いこと
おらしてもらうわ。
また、来るで！！

だいたい毎日
コーヒーの飲み
来とるで。

ここに来ると
ゆっくりして
時間が止まったように
感じるんや。

7月から
ポイントカードが
はじまるの？

はい、
500 円に1ポイントで
30 ポイントためてもらおうと
500 円引きです。
ポイントカード持って
ご来店下さい。



やすらの里 職員紹介

①法人名 ②所属 ③氏名 ④ひとこと



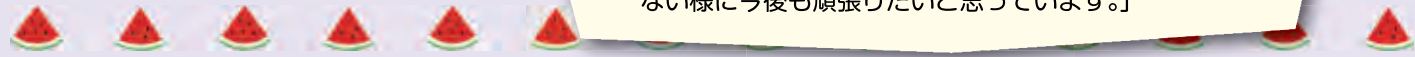
- ① よさのうみ福祉会
- ② ワークセンター花音「喫茶」・支援員
- ③ 内田 真奈美
- ④ 「喫茶花音で楽しく仕事をさせて頂いて3年目を迎えました。地域の皆さんと利用者の皆さんとの架け橋になり、笑顔の絶えないお店作りを目指して頑張っていきたいと思っています。」



- ① 与謝郡福祉会
- ② やすら苑・施設福祉課長
- ③ 吉岡 充則
- ④ 「健康第一に頑張って、より良い施設を目指します」



- ① 丹後福祉応援団
- ② ショートステイやすらいろ・介護職
- ③ 和田 久美子
- ④ 「働き始めて半年が過ぎました。最初は不安だけでしたが、利用者とのコミュニケーションも取れるようになり、大変ですが日々楽しく過ごしております。他の職員に迷惑をかける様にならない様に今後も頑張りたいと思っています。」



サテライトみのり

〈訪問看護をご存知ですか〉

サテライトみのりが開設され、2年と少しが過ぎようとしています。ご利用者様とご家族の思いや生活から、多くの事を感じ学ばせて頂いております。また地域の皆さまに声を掛けて頂く事も増え、大変嬉しく思っております。

そういった中で、『訪問看護って何をしてくれるの?』『ヘルパーとどう違うの?』と尋ねられる事がありますので、今回は訪問看護の仕事を図で紹介させて頂きます。訪問看護の仕事内容を少しでも知って頂ければ幸いです。



京都府看護協会は7月から『くらし・あんしん療養相談室』を開設し、在宅看護や介護についての相談を受け付けております。療養しながら生活されている方で「介護の事で悩んでいる」「家で療養していきたいが不安がある」など、どんな事でも結構ですのでぜひご相談下さい。サテライトみのりでは、住み慣れたご自宅での生活を中心に体と心のサポートができるように、また、地域の皆さまの声を大切に活動していきたいと思っております。



地域共生型福祉施設 やすらの里

〒629-2403 京都府与謝郡与謝野町字加悦 802 番地 7

社会福祉法人与謝郡福祉会 特別養護老人ホームやすら苑
 施設長 土居正志
 ☎ 0772-43-2500 Fax0772-43-2501

特定非営利活動法人丹後福祉応援団 在宅複合型施設やすらの旋風
 理事長 三井健史
 ☎ 0772-44-1122 Fax 0772-44-1155

社会福祉法人よさのうみ福祉会 ワークセンター花音
 管理者 平井弘美
 ☎ 0772-44-0022 Fax 0772-44-2022

京都府看護協会天の橋立訪問看護ステーション サテライトみのり
 管理者 三宅佳代子
 ☎ 0772-43-0225 Fax 0772-42-0226



編集後記

今回も「やすらの里だより」をご覧頂きありがとうございます。歌う事が大好きな私は「のど自慢」に出たい一心でよく応募しています。先日あった綾部での予選会も自信があったのに見事落選…。ショックが隠し切れません。そんな時は喫茶の外から安良山を見上げます。喫茶から見える安良山は“また頑張ろうか!”となくさめてくれます。うっとうしい梅雨時期ですが、皆さんお体を大切になさってください。

広報委員 I・Y

